



東北大学

IRIDeS  
International Research Institute  
of Disaster Science  
災害科学国際研究所

みりのく震録伝

平成 27 年 2 月 24 日

報道機関 各位

東北大学災害科学国際研究所

宮城学院女子大学

多賀城市

**東日本大震災アーカイブ 語り部シンポジウム  
「かたりつぎ」～朗読と音楽の夕べ～  
開催のご案内**

東北大学災害科学国際研究所ではこのたび、「東日本大震災アーカイブ 語り部シンポジウム「かたりつぎ」～朗読と音楽の夕べ～」を下記のとおり開催いたします。

本シンポジウムは、東北大学アーカイブプロジェクト「みちのく震録伝」で収集した東日本大震災の被災者の体験を紹介することにより、国内外への防災、減災意識の向上と震災記憶を語り継ぎ伝承をすることを目的としており、2012 年から毎年開催し本年で 4 回目の開催となります。

つきましては、広く市民の皆様にご周知いただくとともに、当日はご取材いただき、紙面、番組等で紹介いただけますよう、よろしくお願いたします。なお、シンポジウム開催前には、記者会見も予定しておりますので、こちらについても、ぜひ参加いただけましたら幸いです。

なお、シンポジウム、記者会見での取材をご希望の際は、3 月 3 日（火）までに下記問い合わせ先へご連絡願います。

記

■日時：2015 年 3 月 5 日（木）

場所：多賀城市文化センター（本リリース 2 頁目を参照願います）

【記者会見】場所：会議室 3, 4 時間帯：17:00～17:25（16:40 受付開始）

出席： 俳 優	竹下 景子 氏
多賀城市長	菊地 健次郎 氏
宮城学院女子大学長	平川 新 氏
東北文化学園大学教授	志賀野 桂一 氏
画 家	加川 広重 氏
東北大学災害科学国際研究所長	今村 文彦

【シンポジウム】場所：大ホール 時間帯：18:00～20:10（17:30 受付開始）

出演： 俳 優	竹下 景子 氏
多賀城市長	菊地 健次郎 氏
バイオリン奏者	神谷 未穂 氏
ピアノ奏者	高塚 美奈子 氏
落語家	六華亭 遊花 氏
合 唱	宮城県多賀城高等学校
東北大学災害科学国際研究所教授	富田 博秋
東北大学災害科学国際研究所准教授	柴山 明寛

【問い合わせ先】

東北大学災害科学国際研究所 情報管理・社会連携部門 災害アーカイブ研究分野

担当：小野 円（技術補佐）

電 話 022-752-2099 メール katari-tsunagu@irides.tohoku.ac.jp

## 多賀城市文化センター

〒985-0873 多賀城市中央2丁目27-1 TEL: 022-368-0131

### ◆ 交通のご案内



#### ● 電車

JR 仙石線・多賀城駅下車→駅より徒歩7分

#### ● 自動車

《仙台から》国道45号・産業道路で約25分

《東京方面から》東北自動車道 仙台南IC下車→仙台南部道路経由 仙台東部道路 仙台港北IC下車 約10分

《盛岡方面から》東北自動車道 富谷JCT→仙台北部道路→利府JCT→三陸自動車道仙台港北IC下車約10分

あのとき、  
雪がふっていた



竹下 景子



神谷 未穂  
©M.Pasternak



高塚 美奈子

東日本大震災からまる4年の歳月が流れようとしています。現在も20万人以上の人々が避難生活を余儀なくされており、心のケアも含め多くの課題を抱えています。今年も、俳優の竹下景子さんが七人の記憶と今をかたりつぎます。

東日本大震災の「語りつぐ記憶」

朗読と音楽の夕べ

katari-tsunagu

かたりつぎ

2015年 3月5日〔木〕

開場 17:30 開演 18:00

会場 多賀城市文化センター〈大ホール〉

〒985-0873 宮城県多賀城市中央二丁目27番1号 TEL.022-368-0131(代) FAX.022-368-0132

入場無料・要申込

全席自由

※応募による予約が必要となります。詳しくは裏面の応募方法をご覧ください。

出演 〔挨拶〕菊地 健次郎(多賀城市 市長) 〔合唱〕宮城県多賀城高等学校  
〔講演〕富田 博秋(東北大学教授) 〔報告〕柴山 明寛(東北大学准教授) 〔朗読〕竹下 景子(俳優)  
〔演奏〕神谷 未穂(バイオリン) / 高塚 美奈子(ピアノ) 〔司会〕六華亭 遊花(アナウンサー)

会場までのアクセス

JR仙石線・多賀城駅下車→駅より徒歩7分



お車でご来場の方へ

駐車スペースに限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

主催：東北大学災害科学国際研究所 / 宮城学院女子大学 / 多賀城市 / かたりつぎ仙台実行委員会 / 復興支援コンサート実行委員会

後援：宮城県 / 仙台市 / 多賀城市教育委員会 / 世界国連防災会議実行委員会 / NHK仙台放送局 / 仙台放送 / TBC東北放送 / KHB東北放送 / エフエフエフ  
河北新報社 / 読売新聞東北総局 / 朝日新聞仙台総局 / 毎日新聞仙台支局 / 産経新聞社東北総局 / FM仙台 / (公財) 仙台市市民文化事業団

協賛：石窯パン工房ばーすでい / 積水ハウス株式会社 / 凸版印刷株式会社

協力：アーツエイド東北

お問い合わせ 東北大学災害科学国際研究所 災害アーカイブ研究分野 TEL.022-752-2099

メールアドレス Katari-tsunagu@irides.tohoku.ac.jp

竹下景子さんは、阪神淡路大震災の復興支援のために神戸で詩の朗読を続けてこられました。東日本大震災を受け、神戸朗読会の有志と竹下景子さんの思いが届き、この催事は東北で行われるようになりました。今回は3回目の開催となります。

東北大学災害科学国際研究所の震災アーカイブプロジェクト「みちのく震録伝」が集めた東日本大震災の被災者の思いを、竹下さんが詩のメッセージとして音楽にのせて朗読いたします。

詩の朗読とまじりあつて感動をよぶ地元アーティストによる演奏、宮城県多賀城高等学校合唱部による美しい歌声、東北大学の富田博秋教授による講演や、柴山明寛准教授による「みちのく震録伝」の取り組みの報告なども予定されています。司会は落語家の六華亭遊花さんです。

今年も昨年に引き続き、ステージに加川広重さんの東日本大震災巨大水彩画を設置します。タイトルは「雪に包まれる被災地」(作品サイズ5m40cm×16m50cm/2011年)。ロビーでは様々な復興への取り組みも展示いたします。

東北大学災害科学国際研究所では、3・11祈念事業として震災の「かたりつぎ」を継続し、防災・減災教育として大切なメッセージを伝えつつ、明日を生きる勇気や希望を感じられる事業にしていきたいと考えております。



とみた ひろあき  
東北大学教授 富田 博秋

1989年岡山大学医学部を卒業後、精神科医となる。1995年から兵庫県の精神科病院、1997年から長崎大学、2000年からカリフォルニア大学アーバイン校で精神科の診療や研究に従事し、2006年に東北大学に着任。東日本大震災後、七ヶ浜町や多賀城市を中心に被災地域のメンタルヘルス支援活動を開始。2012年4月から東北大学に新設された災害科学国際研究所の災害精神医学分野の教授に着任し現在に至る。



竹下 景子

俳優。名古屋出身、東京女子大学卒業。1973年NHK銀河テレビ小説「波の塔」でデビュー。映画「男はつらいよ」のマドンナ役を3度務め、舞台などでも活躍、数々の賞を受賞。阪神淡路大震災から20年となる今年1月、2012年まで出演した神戸の「朗読と音楽のタペ」に再び出演し朗読を行った。



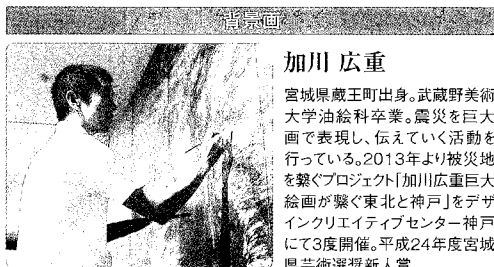
神谷 未穂

桐朋学園、ハノーファー音大、パリ国立高等音楽院卒業。北九州国際音楽祭TOTOKUFMOブライズ室内楽第1位、ティボール・ヴァルガ国際ヴァイオリンコンクールにてパガニーニ賞。磯谷里子とのユニット「デュオ・プリマ」でも活躍。NHK仙台放送局「ひるはび」レギュラー出演中。平成23年度宮城県芸術選奨受賞。仙台フルコンサートマスター。



高塚 美奈子

宮城学院女子大学音楽科卒業、研究科修了。野沢真弓、林秀光の各氏に師事。モーツァルト音楽大学夏期講習にてハンス・ライグラフに指導を受ける。現在、宮城学院女子大学、東北文化学園大学、石巻専修大学、仙台幼児保育専門学校各非常勤講師、尚絅音楽教室講師。(社)日本演奏連盟会員、日本アレンスキー協会会員。



背景画

加川 広重

宮城県蔵王町出身。武蔵野美術大学油絵科卒業。震災を巨大画で表現し、伝えていく活動を行っている。2013年より被災地を繋ぐプロジェクト「加川広重巨大絵画が繋ぐ東北と神戸」をデザインクリエイティブセンター神戸にて3度開催。平成24年度宮城県芸術選奨新人賞。

宮城県多賀城高校合唱部

私たちは、TCC (Tagajo high school Chorus Club) の愛称で、定期演奏会やNHK音楽コンクールや合唱コンクールへの参加などに取り組んでいます。また、地域での活動にも重点をおき、市民音楽祭や市内の中学校、病院などでも演奏させていただきました。私たちの歌に興味をもっていただけましたら、定期演奏会(8月開催予定)へも足をお運びいただければ幸いです。どうぞよろしくお願いたします。

復興支援コンサート実行委員会

阪神・淡路大震災から20年もの歳月が流れ、神戸は復興を遂げたように見えています。しかし、今なおケアが必要とされるなど、多くの課題が残されており、未曾有の災禍は日本の脆弱性を直撃し、私たちの心に突き刺さったままです。これまで芸術文化での癒しのまちづくりに取り組んできた私たち実行委員会が、震災体験を普遍化し全国に伝えたいとの想いで継続してきたのが、公募詩による朗読とコンサートです。竹下景子さんの温かいご協力で全国から2500作品が寄せられ、その詩集「明日への記憶」は各地の図書館や学校に寄贈され、防災教育等で活用されています。このように117は311に継承され、安心できる新しい市民社会の創造を目指しています。



六華亭 遊花

三遊亭遊三入門落語芸術協会  
仙台事務所所属

平成24年4月落語家としてプロデビュー。称号は「震災に負けず、東北六県華ひらく」の意味。古典落語、民話をベースにした東北弁の落語家は人情に溢れ、寄席落語会などで人気を博している。

舞台監督 白津 守康 演 志賀野 桂一

応募方法 締切 / 2015年2月20日(金) 消印有効

往復はがき  
で応募

往復はがきの往信面の裏に①イベント名、希望人数②住所③氏名④電話番号を、返信面の表に住所、氏名をご記入のうえ、お申込みください。詳しくは右記をご覧ください。※1枚で2名様までご入場できます。

切手	〒980-8799
仙台中央郵便局留 「かたりつぎ」係	この欄は 記入不要です。

往信(おもて)

返信(うら)

切手

あなたのご住所  
あなたのお名前様

①「かたりつぎ」係  
希望人数 1人  
又は2人

②ご住所

③お名前

※2名で応募の場合は  
2名のお名前をお書きください。

④お電話番号

返信(おもて)

往信(うら)

メール  
で応募

メールアドレス [katari-tsunagu@irides.tohoku.ac.jp](mailto:katari-tsunagu@irides.tohoku.ac.jp)

上記のメールアドレスへ①イベント名、希望人数②住所③氏名④電話番号をご記入のうえ、お申込みください。